

「令和二年」新春を迎えて

木古内町議会議長

又 地 信 也



新年あけましておめでとうございませす。

令和二年、新春を迎え謹んで御挨拶申し上げます。

町民の皆様におかれましては、新たな希望と期待に満ちあふれた中で、輝かしい新年を迎えられた事と思います。心からお慶び申し上げます。

平成の世から令和へと元号が変わりましたが、町民の皆様におかれましてはどんな一年でありましたでしょうか。そして新たな年を迎え、何を思い、何を目標に定めましたでしょうか。

昨年一年を振り返ってみますと一昨年もそうでありましたが、自然災害が多く、特に台風十五号、十七号と立て続けでの豪雨災害、十九号では堤防決壊による家屋の流失、交通機関のマヒ、田畑の冠水による収穫間近な農作物被

一つにする事、思いを一つにする事、

そんな考えのもと、目的に向かって突き進む大切さがここにあると思います。

「ワンチーム」という言葉の持つ響き、その意味を考える時、とてつもなく大きく深い意義を感じたところです。

今年スポーツの祭典、東京オリンピック・パラリンピックの年でもあり、世界各国から大勢のアスリートが日本を訪れます。世界に誇れる大会となるよう、オリンピック・パラリンピックの成功を祈りましょう。

そしてもう一つ、それは令和の時代に入り、新天皇の即位があり、国内外から多くの御来賓を招いての一連の祝賀行事も無事終わり、その様子がテレビに映る時、永久（とこしえ）に日本国民の幸せを願う姿と世界平和を念じ

るお言葉を耳にし、一層の元気を与えていただきました。さて我が町を考える時、新幹線開業後、道の駅の効果もあり、交流人口は二百万人を突破し、確実な推移を遂げ

ております。

しかし一方では、人口減少に歯止めがかかっていないのも事実であり、中

央通りの改良工事が行われる事により、移転対象となる方々に木古内町に引き続き住んでいただくための施策等が必要であります。子育て支援、高齢者に

対する支援、様々な支援施策に取り組んでおりますが、現状を見据えた新たな施策を見出したいと考えております。一次産業に光をあて、一次産業が

もつともっと元気を取り戻すための施策を軸に保健、医療、福祉の充実は永遠のテーマと位置付け、難題山積の中、元気なまちづくりにしつかりと取り組んでまいります。

議会は議論の場を通じ、町民の幸せを築くための合意形成の場であります。この事を肝に銘じ、議員一同精進してまいります。結びに、本年も健康で良き事が多い年になりますよう御祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。